



掲載団体・内容

オレンジカフェ桜台 …… 1面
 ノースファミリー実行委員会 …… 2面
 つながるコラム …… 3面
 助成金情報 …… 2・3面
 お知らせ …… 4面

医療・介護・福祉が連携し、認知症に寄り添う
オレンジカフェ桜台



代表の仲田 修三さん

毎月第2木曜日、ココネリで認知症をテーマに講演・個別相談を開催し、専門家からの情報提供や参加者交流を行っているのが「オレンジカフェ桜台」です。

運営するのは、医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャーなど認知症に関わる有志5名。代表を務める仲田さんは製薬会社で長年認知症薬の営業を担当し、「認知症には医療、介護、福祉の連携が不可欠」と感じていました。

「定年退職を機に、旧知だった

認知症専門医である桜台診療所の辰野先生にお話ししたところ、考えが一致し、2018年6月にこの会を立ち上げました」

周辺の地域包括支援セ

ンターの協力を得て、認知症患者やご家族が専門家と共に認知症について語り合う場として、月に1回開催しています。

取材に伺った9月のテーマは「withコロナと認知症」。行動の制約や心理的ストレスが患者や家族に与える影響などを辰野医師が事例を交えて解説し、「社会的距離が心の距離にならないよう配慮が大切。家族はなるべく心に余裕を持って」とアドバイスしました。地域包括支援センター職

員から高齢者施設の実情や感染防止への取り組みについても話があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

個別相談では、「自分は認知症ではないか」「家族が認知症の診断に行ってくれない」などの悩みが多いそう



参加者からの質問にわかりやすく答える辰野医師

ですが、一人ひとりていねいに寄り添うことで、参加者からは「不安が解消できた」「具体的な助言

をもらい介護の参考になった」と、好評を得ているとのこと。

「こうした活動を通して悩みを

抱える方たちが元気になってくれる。それが私たちの何よりの喜びです」と仲田さんは話します。

現在、区内の認知症カフェは20か所以上。「カフェの特色は、おしゃべりで和んだり、勉強したり…とそれぞれ異なります。私たちは専門分野の知識や経験を生かして活動していきたいと思えます。利用者が目的に合わせて参加できるよう、これからはカフェ同士の連携を進めていきたいです」と仲田さん。

9月からオンラインでの配信もスタートしました。関心のある方はぜひ参加してみてくださいでしょうか。

■ オレンジカフェ桜台
 代表：仲田 修三
 TEL：090-7635-0300
 メール：s-nakada@ab.cyberhome.ne.jp



9月の講演会には、認知症に悩む人や家族、福祉職の人など約20名が参加。活発な意見交換が行われました

地域活動に関する相談を受け付けています

■ 区民協働交流センターの窓口では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

受付時間：9時～22時
 年中無休(12/29～1/3を除く)

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること

専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。

相談希望は区民協働交流センターへ(4面参照)

「しもねり・かわら版」で地域住民をつなぐ

ノースファミリー実行委員会



代表の平田 満さん

練馬区北町1～3丁目のコミュニティの活性化を目指し、有志十数名で結成した「ノースファミリー実行委員会」。平成30年度、練馬区の「地域おこしプロジェクト」に選定され、区と協働で活動しています。

「北町は、旧川越街道の宿場町・下練馬宿として栄えた地域。その特色や財産を活かして町おこしにつなげたいと思い、プロジェクトに応募しました」と語るのは、代表の平田さん。地域の文化や歴史、イベント、生活情報などを紹

介する地域情報紙「しもねり・かわら版」の発行が活動の中心です。創刊は平成30年10月。年3回、1万部発行し、地域に戸別配布しています。

旧街道の商店街を中心に発展してきた北町も、近年は商店がマンションに替わり、新しい住民が増えているそう。

「しもねり・かわら版のメインターゲットはそうした新住民の方、特に子育て世代のファミリー層です。地域のイベントや活動に参加してもらい、住民同士の交流を促進したいと思っています」

読者アンケートによると、商店街特集などの生活に密着した情報



実行委員会メンバーの打ち合わせの様子

が人気を集める一方、地域に長く住む方に伺った「北町のちょっと昔の話」も好評とのこと。

また、かわら版の制作に参

加してもらおうべく「体験記者」を募集し、親子で商店街での買い物や避難拠点防災訓練を体験する

様子を記事で紹介したことも。

「財政面での支援はもちろん、区の職員の皆さんと一緒に考え、行動してくれたことで、有意義

な活動ができたと思います」と話す平田さん。区職員と共に活動する期間は今年度が最終年となるため、その後の活動の進め方を現在検討中。従来のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用に加え、新たに公式ホームページを開設したのも、将来を見据えてのことです。

「これからも地域の情報発信と『宿場の絆』づくりを続けていきたいよう、挑戦していきたいと思っています」と、意気込みを語ってくれました。

ノースファミリー実行委員会は、一緒に活動していく仲間を募集しています。皆さんもぜひ参加してみませんか？

■ノースファミリー実行委員会
代表：平田 満
TEL：080-7507-0343
HP：https://shimoneri.com



2019年3月に開催した「ノースファミリーとおとあーと」は、子育て世代の交流会とアート&音楽パフォーマンスのコラボイベント

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■令和2年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

【助成対象】(1)森林を育成するために行う植林、下刈り、木竹の除間伐などの活動

(2)里山林(林業経営が成立しづらい森林)、雑木林や竹林、人工林などの場所

【助成金額】1件あたりの上限額：500万円

【応募期限】令和2年11月30日

【関連URL】<https://www.kouryu.or.jp/information/satoyama20200708.html>

【問い合わせ】一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構
森林・山村多面的機能発揮対策事務局
〒101-0042 千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル5階
TEL：03-4335-1985 FAX：03-5256-5211
E-Mail：satoyama@kouryu.or.jp

■FunD(ファンド) 福島の子ども支援プログラム

小規模かつさまざまな社会課題に対して直接的に活動している草の根団体、被災地で活動を行っている団体への支援を継続的に行っています。(年間予算が3,500万円以下の小規模な団体への助成を優先)

【助成金額】1件あたりの上限額：200万円

【応募時期】3か月に1回(直近の応募締切は2020年12月末)

【関連URL】<https://jn.lush.com/article/fundhuandoji-fu-zhu-cheng-jin-shen-qing-nituite>

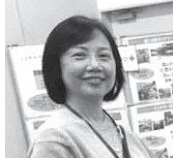
【問い合わせ】株式会社ラッシュジャパン チャリティバンク事務局
TEL：03-6859-0767(月～金：11時～17時)
charity@lush.co.jp

つながるコラム

NPO 自然工房めばえ 第3回 染谷 まさみさん「めばえとともに」

「つながるコラム」では、地域で活動されている方の想いや感じていることなどを紹介していきます。今回は NPO 法人自然工房めばえのスタッフ3名による連載です。3 回目は、染谷 まさみさんです。

染谷 まさみ (そめやまさみ) さん



NPO 法人自然工房めばえ理事
園芸をツールとした地域福祉やまちづくりの
コーディネーターとして活動している。

2017年4月、『めばえ』の拠点が練馬区関町北から高松3丁目に移転しました。高松1・2・3丁目は、東京都から「農の風景育成地区」に指定されており、農作物の生産だけでなく、環境保全、教育、防災、歴史・景観形成など都市農業におけるさまざまな役割を担っている地域です。高松に拠点を移したことにより、活動の幅が広がりました。その中のひとつが『エディブルツーリズム』です。『エディブル』とは「食べられる」という意味。みどり豊かな高松を歩きながら野菜の直売所に寄り道をしたり、農の暮らしや文化に触れ、人との出会いを楽しむガイド付きのまちあるきです。



農の風景を歩き健康増進、高松地区の地域資源、文化歴史にふれるくらぶ活動「エディブルツーリズム」の1コマ

植物(みどり)は、子どもから高齢者の方まで楽しめる要素を秘めています。『めばえ』に集う皆さんは、みどりに触れて癒やされたり、生きがいを感じた

り、生活の中に取り入れたり、地域活動に生かしたりと、各々がご自分の興味や好みで楽しんでいきます。



掲示板製作などは、器用なKさんの腕の見せどころです

「生まれも育ちも練馬区で、緑と人が好きで『めばえ』と繋がりました。『めばえ』では緑と花だけでなく、みんなの笑顔が咲いています」とは利用者のKさんの声です。

私がフラワーアレンジメント講師をしていた頃、フラワーアレンジは単に花の美しさを表現するだけでなく、心の癒やしに役立つと実感していました。『めばえ』に出会い、園芸療法を通じて自分自身の可能性が広がったと感じています。コロナの影響で新しい生活様式が進んでいますが、その時代に合ったものを探し出し、柔軟に自分たちの可能性を見出していきたいと思います。

これからも『めばえ』とともに「ひととみどり」「人と人」「人と地域」をつなぐパイプ役として、園芸をツールに「健康で・楽しい・ほっとする・やりがいのある」活動を展開し続けたいと思います。

NPO 法人自然工房めばえのスタッフの皆さん、ありがとうございました。
次回の連載は「NPO 練馬明るい社会づくりの会」の西江行雄さんです。

■2021年度 エフピコ環境基金

【助成対象】 持続可能な社会構築に寄与する①～③の分野で活動している団体に助成します。(日本国内の活動のみ)

- (1) プラスチックごみ回収・リサイクルの推進など循環型社会の構築や気候変動問題の解決に貢献する活動
- (2) 体験型プログラム等を通じて自然環境を大切にすることを育む活動や環境問題を解決するための研究
- (3) 食育や食の安全・フードロスの対策となる活動

【助成金額】 1件あたりの上限額：200万円

【応募期限】 2020年12月28日

【関連URL】 <http://www.fpcoco.jp/esg/environmenteffort/environmentalfund.html>

【問い合わせ・申し込み】 エフピコ環境基金事務局

E-Mail:fp-kankyokikin@fpcoco-net.co.jp

■セブン-イレブン環境市民活動助成

- NPO 基盤強化助成 安定的に活動を継続できる自主事業

の構築・確立をめざすNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所家賃を原則3年間支援

【助成金額】 1団体あたり上限：400万円

(原則3年間で総額1,200万円の継続助成)

- 活動助成 自然環境保護など、市民が主体となって行う環境活動の活動資金を1年間支援

【助成金額】 1団体あたり上限：100万円

※両助成、共通事項

【関連URL】 <https://www.7midori.org/josei/shinseisho/shinseisho.html#jiritu>

【応募期間】 2020年10月26日～11月16日

【問い合わせ】 一般財団法人セブン-イレブン記念財団 助成担当 〒102-8455 千代田区二番町8-8

TEL: 03-6238-3872 FAX: 03-3261-2513

E-Mail: oubo.21@7midori.org

ちょっとした
情報交換や休憩に!
誰でもご利用できます!

つながるルーム

をご利用ください!

区民協働交流センターの多目的室にて、練馬区内の地域活動について情報交換ができたり、ちょっとした休憩ができる場所、「つながるルーム」が新たにオープンしました! お気軽にご参加ください!

地域活動に役立つ
3つのコーナー

練馬区立区民協働交流センター 多目的室・交流コーナー
11月26日(木) 14時~16時 / 12月18日(金) 18時~20時
★参加無料・出入り自由!

(1) 地域活動情報コーナー

練馬区内の町会・自治会やNPO、ボランティア団体等の活動の様子をポスター等でご覧いただけます。センター登録団体の情報カード等も閲覧できますので、団体の情報収集にぜひご利用ください。

(2) 休憩・情報交換コーナー

ちょっとした休憩に使えるコーナーです。休憩していただきながら、他の利用者との交流もお楽しみください。キッズスペースも用意していますので、お子様連れの方もぜひご利用ください!

(3) ミニ講座コーナー

地域活動に関する様々な講座やワークショップを体験できるコーナーです。内容は決まり次第、区民協働交流センターのFacebook等でお知らせします。



9月に開催した「つながるルーム」の様子

※開催にあたっては感染症予防対策(換気・消毒・3密防止)を講じた上で実施いたします。ご来場の際はマスク着用にご協力いただくようお願いいたします。

オンラインで「つながる」!! つながるフェスタ オンライン&つなフェスTV開催中!

コロナ禍で地域活動の取り組み方についても「新しい日常」への適応が求められている中、「練馬つながるフェスタ」に関わったことのある有志の方々から声があがり、新たな企画「つながるフェスタオンライン(つなライン)」が立ち上がりました。

これはオンライン会議アプリ「Zoom」を使用して、1回あたり3~4組の地域活動団体が最近の活動状況や今後の展開などについて情報交換し、交流を図る「場」をつくるというもので、月1回、定期開催しています。

また、過去のつなラインの様子を動画で振り返る「つなフェスTV」をYoutubeにて公開中です。地域活動をされている皆さま、ぜひつなラインへの参加、つなフェスTVのご視聴よろしくお祈いします!



過去の「つなライン」の様子

★つながるフェスタオンライン
詳細はこちら

(Code for Nerima facebook)
<https://www.facebook.com/code4nerima/>



★つなフェスTVの視聴はこちら

(Youtubeチャンネル)
<https://youtu.be/CA-nT5ltc8g>



練馬区立区民協働交流センター

練馬 1-17-1 ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時 (12/29~1/3は休業)



<https://www.facebook.com/Nerimakuyodokoryucenter/>



練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima



練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ

<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター 検索

★音声でお読みください

ご存知でしたか? 練馬区立区民協働交流センター発行「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。
NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL:03-3577-5666